

JOCジュニアオリンピックカップ大会
第18回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会競技規程

【予選リーグ】

■競技要項

練習：5分 競技時間：各ピリオド15分 インターバル：5分
延長：なし PSS：なし T0：あり ランニングタイム(RT)：あり

■進行

整氷→練習→試合開始(1ピリオド終了後整氷)→試合終了後整氷

■順位決定方法

勝点の多い順とする。(勝ち=3点 引き分け=1点 負け=0点)
同勝点の場合の優先順位は次のとおりとする。

- ①当該チーム間の得失点差の上位
- ②当該チーム間の得点の上位
- ③全試合の得失点差の上位
- ④全試合の得点の上位
- ⑤抽選

【決勝トーナメント】

■順位決定戦

1- 4位決定戦 各グループ1位チーム (3位決定戦あり)
5- 7位決定戦 各グループ2位チーム
9-11位決定戦 各グループ3位チーム

■競技要項

決勝・3位決定戦 練習：10分 競技時間：各ピリオド20分 インターバル：10分
T0：あり RT：あり
上記以外 練習：5分 競技時間：各ピリオド15分 インターバル：5分
T0：あり RT：あり

■延長規定

決勝・3位決定戦 3分間の休憩後、3on3による5分間のサドンデス延長ピリオドを行う。
延長ピリオドで決しない場合、直ちに3人ずつのPSSで勝敗を決する。
それでも決しない場合、サドンデスPSSで勝敗を決する。
上記以外 直ちに3人ずつのPSSで勝敗を決する。 それでも決しない場合、サドンデスPSSで勝敗を決する。

※延長ピリオド・PSSにおいては、整氷は行わない。PSSは片面を使用する。

■進行

決勝・3位決定戦 整氷→練習→試合開始(各インターバル整氷)→試合終了後整氷
上記以外 整氷→練習→試合開始(1ピリオド終了後整氷)→試合終了後整氷

《ランニングタイムの導入》

1. 試合中、10点以上の得点差がついた時点で次のフェイスオフ以降のゲームタイムはランニングタイムとする。
2. 点差が縮まった場合でも継続する。
3. 次の場合は一旦時計を止め、次のフェイスオフでスタートさせる。
 - (1)得点があったとき
 - (2)反則があったとき
 - (3)選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などレフェリーから時計を止めるよう指示があったとき
4. アイシング等時計が動いている状況でのプレー中断中にペナルティが終了した場合(タイム表示が消えた場合)、当該選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティ・ボックスから出られない。